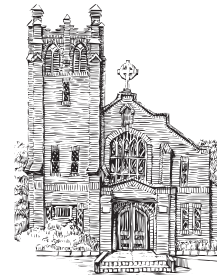


日本聖公会

大阪教区報



大阪城南キリスト教会

恵我之荘聖マタイ教会

大阪聖愛教会

主教座聖堂 川口基督教会

日本聖公会
大阪教区総務局

〒545-0053

大阪市阿倍野区
松崎町2-1-8

TEL 06-6621-2179

FAX 06-6621-3097

osakakoho2022@gmail.com

発行責任者

総務局長 司祭 金山将司

+++++ 第532号 2026年8月20日発行 +++++

「あくまでも忍耐しなさい」

～ヤコブの手紙 1章4節より～

司祭 ヒューム ウィリアム ユーワン

最近、世界の注目はアメリカに集まっています。

その理由は「地政学的緊張」のためではありません。むしろ「国と国とが親しく交流できる祭典」のためです。その祭典とは、アメリカで開催されているFIFAワールドカップ2026のことです。

今年の大会に参加したチームの数は、これまでで最も多かったそう、48か国のチームが優勝を目指して世界のひのき舞台で闘いました。激しい勝負の世界ではありますが、選手だけでなくサポーターもまた国の代表としての顔を持つため、民間外交（パブリック・ディプロマシー）としての役割も果たしていると言えるでしょう。ワールドカップへの出場を果たすための予選の通過は、簡単な道のりではありません。

私の出身地・スコットランドの学校での必修スポーツはラグビーでした。そして、私が選択したスポーツ科目はフencing（フェンシング）

でしたので、ここで話題にしているサッカーに対しては、実はそれほど興味がありませんでした。しかし、今回のワールドカップの試合いくつかは観戦しました。今回の日本代表は、スコットランド代表より良い成績を残した大会であったと言えるでしょう。

どんな大会あっても、出場に至るまでの練習や失敗などは、本人以外にはなかなか分からないものだと思います。また、目標のゴールに到達するために、また、成功するためには頑張らなければならぬのですが、それはスポーツに限ったことではなく、仕事でも同じことです。

私たちの日常生活は必ずしも円滑に進むというものではありません。浮き沈みがある……これは、人生につきものです。そして、恐らく……喜びの時より、苦難の時……これが、私たちに与えられた大きな負担になります。



なぜ自分の人生がそのような歩みになるのでしょうか。それは、私たちにはわかりません。そして、なるべくなら、苦難の時を避けたいという気持ちを抱くのは当然のことです。しかし、苦難を避けられるわけでもなく、そこから逃げることは、最善の選択ではないと思います。

私は思います。なぜなら、挑戦することが、私たちの成長に良い影響をもたらすかも知れないからです。

そして、私たちのクリスチャンとしての生涯にも。色々な挑戦があると思いますが、それらの挑戦や試練に遭う時にどのように応じるか、それは私たちの信仰の成長にとって大きな課題となります。

このようなことを教えてくれる、聖書の中のいくつかの言葉、葉の中のつが、ヤコブの手紙1章2～4節です。

この箇所は、終末を待ち焦がれる喜びについての箇所です。この部分では、私たちの将来のことを教え、死後の神の国にいての「いのち」を強調しています。そして、試練には目的があると説明していますので、苦難のうちにこのみ言葉を読む人にとって、励ましの言葉となります。

また、信仰生活の中で出会う試練は私たちの信仰を練り清め、より強くするための重要なプロセスであると結論づけています。そして、試練は私たちの信仰を成長させるためには避けることができないステップであり、乗り越える努力をして得た信仰、私たちの来世の命と関係があります。ですので、クリスチャンとして試練を受け入れ、忍耐することは、やむを得ない選択となるのです。

前向きに試練を超えたと、私たちは最も完全な人となり、神の国に入るために最も相応しい人になるのです。

（堺聖テモテ教会牧師、聖ルカ教会管理牧師、桃山学院大学チャレン、東光学園チャレン）

『み言葉の礼拝』

つて？

ヨシユア 高島 幸二



6月20日、川口基督教会に
主教ヨハネ吉田雅人師父をお
迎えし『み言葉の礼拝』につ
いて教えをいただいた。それ
ぞれの教会で用いられるよう
になってきた『み言葉の礼拝』
であるが、今回の学びはその
理解をより一層深め、豊かな
礼拝を献げることができると
うにと企画された。各教会の
関心も高く、60人を超える参
加者を得て進められた。

解することが困難なほどであ
る。この式文が出来上がるま
でに、とてつもない時間と労
力が費やされていることに驚
くばかりである。『み言葉の
礼拝』は聖餐式とのつながり
を持たせるため、その流れを
切らさぬよう聖餐式と同じ聖
書日課が用いられる。その名
の示すとおり、聖書のみ言葉
をしつかりと中心に据えて礼
拝が進められることがよく理

前半では主日
礼拝において、
朝の礼拝に代
わって用いられ
る『み言葉の礼
拝』の成り立ち
や意義と構造な
どを、準備して
くださった沢山
の資料に従っ
て、細かく丁寧
に説明をいただ
いた。正直、膨
大すぎて、後で
資料を読み返さ
ないと十分に理

解できた。

後半は、式文の各項目を具
体的に、時には実際に動作を
交えて説明いただいた。とも
に集まり、ともに聞き、分か
ち合う。み言葉にこたえ、と
もに祈る。それぞれに複数の
選択肢が準備され、教会暦や
その時の状況により使い分
け、工夫することができるよう
に作られている。そしてみ
言葉によって養われ、神様の
恵みにあずかった私たちはそ
の愛を、より多くの人たちに
伝えるために派遣される。

『み言葉の礼拝』がより豊
かなものになるように。主教
様の願い、思いが伝わって
くる。決してセカンドサービ
スや聖餐式の代替ではない。ま
た、多くの子どもたちや、聖
餐にあずかることのできない
求道者にとっても、信徒と同
じ時間を共有できる素晴らしい
ものである。『ハレルヤ、
主とともに行きましょう。』
(礼拝・音楽委員会協力委
員、大阪聖愛教会信徒)

連載 杖一つ

東豊中聖ミカエル教会のあゆみ

ヨシユア 久保義道

1968年3月、大阪聖
パウロ教会の方々を中心に6
年に亘る準備の末、豊中市島
熊山の高台に大阪パウロ教会の
伝道所としてスタートしまし
た。当初は30人ほどの小さな
教会でしたが東豊中での伝道
の礎ができました。1974
年には、東豊中聖ミカエル教会
と名前を変えて現在に至りま
す。礼拝出席数は1986年
平均48人をピークに、現在で
は20人程度となっています。

れてキリスト教保育が守られ
ていることに感謝しています。

建物は3階が礼拝堂、2階
が集会室、1階が保育園です。
50年経って屋上の防水、壁の
補強、天井の落下防止など、
修繕にかなりの費用が掛かっ
ています。昨年11月の臨時堅
信受領者総会で、礼拝堂は必
要ではあるが園児の安全確保
のために、園舎を先行して建
替えることを決定しました。
50人を受け入れられる木造2
階建て園舎の2028年度完
成を目指して、基本計画から
基本設計へと準備を進めてい
るところです。

東豊中聖ミカエル教会は聖
ミカエル保育園と共にある教
会で、地域と共に歩んでまい
りました。建築にはかなりの
費用が必要ですが、このこと
を覚えていただき、多くの
方々のお祈りとご協力をお願
いしたいと考えております。
今後ともよろしく願いた
します。

(東豊中聖ミカエル教会 信徒)

私たちは礼拝の度に「平和」について祈りますが、その祈りが時に形式的なものになっていないでしょうか。そのよ



平和について祈ること

プール学院中学校・高等学校チャプレン
司祭 バルナバ 永野 拓也

うな問いを持つていた私は、プール学院の生徒たちの取り組みを通して、大切なことを学びました。

きっかけは、放送部の生徒が、「礼拝で話をさせてほしい」と相談を受けたことでした。話を聞くと、生徒動員で亡くなった生徒たちや当時の状況を取材し、番組として制作したので礼拝で紹介したいというのです。

1945年6月7日、大阪は、B29による大空襲を受け、生徒動員で敷島紡績にいたプール学院（当時、聖泉高等学校）の生徒と教員合わせて7名が亡くなりました。本校では、毎年、6月7日に合わせて記念式を行っています。戦後80年を経て、私にとってもそうですが、生徒たちにとっても「戦争は教科書の中の出来事」となりつつあります。実感を持つて平和を祈ることの難しさを感じていた時、生徒たちが自ら歴史を学び、分かち合おうとしてくれたことは、大きな喜びでした。

それから程なくして、6月7日を前にして、生徒たちが自分たちの作った作品を元に礼拝で話をしてくれました。

礼拝では、空襲を生き延びた卒業生へのインタビューも紹介されました。実際に空襲を体験した人が、今もなお悲しみを抱えながら生きていることを実感した瞬間でした。礼拝があった日、授業中に感想を聞いてみたところ「怖かった」と話した生徒がいました。その一言には、戦争を知識ではなく、自分自身の出来事として受け止めた姿が表れているように思いました。だからこそ、「平和を祈る」という言葉にも実感が伴うのではないかと感じました。

私たちは日々、正義と平和のために祈っています。その祈りを言葉だけで終わらせるのではなく、過去の悲しみに耳を傾けることを通して、平和を願う心を育む祈りとして献げていきたいと、生徒たちの姿を通して改めて教えられた出来事でした。

○執事の書棚○ 中野京子

『名画の謎 旧約・新約聖書編』

執事 ステラ・ミシェル 大倉 有紀

ベストセラー『怖い絵』を初めて手に取ったのは、書店の目立つ場所にポップ付きで平置きされていた単行本が何となく目に止まったからでした。表表紙の「いかさま師」(ジョルジュ・ド・ラトゥール)の女性の目線が気になり、この絵にはどういう意味があるのだろうか、と本を開いたが最後、その内容と人を惹きつける独特の文体の虜となり、以来20年間で中野京子さんの大ファンです。

中野京子さんはドイツ文学者で、西洋の歴史や芸術に関する広範な知識をもとに絵画エッセイや歴史解説書を多数出版しておられます。今回ご紹介するのは「名画の謎」シリーズの『名画の謎 旧約・新約聖書編』(文春文庫、2016)です。著者は31枚の宗教画を通して、単なる解説に留まらず、画家の思想や人生に切り込み、音楽やオペラ、映画などの他の芸術との関連を指摘し、キリスト教徒ではない学者としての視点

から感想を述べています。その文章は何度読んでも、美術館でその絵画を実際見ているような高揚感を感じさせます。恥ずかしながら、私は中野京子さんの文章を説教を書くときの参考に使っています。テンポよく進み、起承転結を意識する。自分の考えと史実を分けて、それぞれ分かるように伝える。要点は二つだけ。聞き終わってしばらくしたら何となくまた聞きたくなる、聞くのが億劫でなくなる話。、言うは易しで実際は毎週全く及ばない説教をしています。絵画や聖書日課など、ある対象に対する自分の熱い思いを語る、というの私が決して忘れないようにしていることです。それが中野京子さんの著者から一番に学んだことかもしれません。

絵画エッセイは短編ですので、ちよとした空き時間に読むのに最適です。ぜひ一度手に取って見てください。

(高槻聖マリヤ教会)

みんなの一日バスツアー 大塚国際美術館をめぐる

ほか鳴門観光、郷土ランチ

2026年10月31日(土)

参加費 ¥14,000 円

貸し切りバスで楽しい一日を一緒に過ごしましょう。男子会のみならず、どなたでもご参加ください。

問合せ・申し込み: 大阪教区連合男子会
06-6621-2179(担当 寒河江)

ペンテコステ・ヴィジル

エステル 加納 佳世子



5月23日(土) 17時より、大阪聖アンデレ教会にて「第18回聖霊降臨日 前夜の礼拝」が行われました。カトリック教会、日本基督教団、日本福音ルーテル教会、聖公会の聖職者・信徒が集い、教派を超えて共に祈り、聖歌を歌う豊かなエキュメニカルの一ときとなりました。

説教は、カトリック大阪高松大司教区補佐司教・酒井俊弘司教さまが「いつも「緒にいく」ださる聖霊」と題して、聖霊を船の帆にたとえ、私たちの努力は船を手で漕ぐオールのようなもの。一方、帆を張れば風の力で船が進むように、聖霊はいつもそばにいて風を吹かせてく

ださる方であり、自分の力ではできないことも、神に願いながら歩むときに導いてくださると語られました。

このメッセージは、大阪聖アンデレ教会100年史の標語「帆をあげよう」と深く響き合い、聖霊の賜物を受け取りながら宣教の歩みを続けるよう招かれていることを思い起こさせました。

第2日課では「聖霊を受けなさい。だれの罪でも赦される」という御言葉が読まれ、聖霊が赦しと癒しの賜物を与えてくださる方であることを心に刻みました。

礼拝の終わりには、「同で「聖霊来てください。あなたの光の輝きで、わたしたちを照らしてください。」と祈り、聖霊が弱さを強め、共に歩んでくださることを願いました。出席者69人(内 聖公会40人、57, 310円の信施は、日本聖公会長崎聖三教会の大規模修繕のために献げられました。

(大阪聖アンデレ教会信徒)

日本聖公会婦人会第28(定期)総会後第1回会長会開催

日本聖公会婦人会副会長 ユニケ 山本 久美

6月16日(土)17日、日本聖公会婦人会第28(定期)総会後第1回会長会が守口聖オーガスティン教会で開催され、会場30名、オンライン12名が参加しました。平日で会場参加が難しい方々にも日聖婦への理解を深めていただくため、オンライン傍聴は人数を制限せず実施しました。

本会チャプレンの義平雅夫司祭のお祈りで始まり、続いて小林聡主教より「イエス様が困難の中にも共にいてくださるからこそ、安心して課題に向き合い、共に考えることができる。その歩みそのものにわくわくする。」との励ましをいただきました。

諸報告の承認後、8議案を審議しました。感謝箱献金のお献げ先に関する6議案はすべて可決されました。審議の中で感謝箱献金は生命や存在が危うくされている人々、とくに女性や子どもたちのために献げることとをあらためて確認しました。

日聖婦に関する2議案では、

「管区女性デスクとの協働を検討する件」は否決、日聖婦の「名称変更を検討する件」は可決されました。審議を通して、日聖婦の今後の在り方を会員全員で考えていく必要性を共有できたことは、大きな実りとなりました。

2日間を通して、礼拝、ミヤンマー支援のお話、守口ぶどうのいへの見学、参加者同士の交わりなど、恵み豊かな時を過ごしました。

温かく迎えてくださった義平司祭ご夫妻をはじめ、守口聖オーガスティン教会の皆様への尊いお支えに、感謝申し上げます。

今回の会長会は、日本聖公会婦人会のこれからを共に考える第一歩となりました。来年の会長会までの一年が、皆さまと共に悩み、

考え、新たな可能性にわくわくしながら歩む、恵みの時となりますように。

(大阪聖愛教会信徒)



日本聖公会 大阪教区 教区礼拝



神の求めるいけにえは許された聖。
神よ、許され御いる心をあなたは侮りません。
詩編 51:17

司式 主教 バルナバ 小林 聡
(教区主教)
説教 司祭 ロイス 上田 亜樹子
(日本聖公会 退職司祭)

日時 2026年9月27日(日) 午前11時

場所 プール学院中学校・高等学校 清心館
大阪市生野区勝山北1-19-31 JR桃谷駅から徒歩10分

【常】
【置】
【委】
【員】
【会】
【報】
【告】6/23
第10回
(定例)

I. 議事

- ・前回議事録の内容を確認し、承認した。
- ・各委員会よりの報告を共有した。
- ・宣教協議会のための『一次資料』作成に関して進捗を共有した。
- ・教区礼拝の準備について現状が共有された(説教・ロイス上田亜樹子司祭)。
- ・社労士との顧問契約について内容を確認し、承認した。
- ・大宗連の議長に小林主教が選出された(3年間)。同

時に事務局も大阪教区が担当する。

- ・5月度の一般会計報告を承認した。

- ・教役者給与支払い方法について、意見交換を行った。

- ・台湾聖公会主教按手式(11/7予定)への教区のかかわりについて意見交換がなされた。

- ・教区会書記局について内田司祭、千松司祭、金司祭の3名に打診することが決定した(任命済み)。

II. 主教より諮問

- ・2027年4月以降の人事案について今後の見通しが報告され、共有した。

I. 議事

7/23
第11回
(定例)

- ・前回議事録の内容を確認し、承認した。

- ・各委員会よりの報告を共有した。

- ・大阪教区宣教協議会の進捗状況を確認した。

- ・ブラジル聖公会サンパウロ教区との交流の可能性について意見交換がなされた。

- ・台湾聖公会主教按手式に大阪教区代表として成岡宏晃司祭を派遣することを決定。

- ・2026年度教区分担金の補正予算案を承認した。

- ・教区内の牧会状況について情報共有がなされた。

- ・6月度の一般会計報告があり承認した。

- ・大阪聖パウロ教会納骨堂の廃止手続きが完了。

- ・大阪教区宣教協議会2027に向けて準備を進めている。

- ・2026年教区礼拝に向けての話し合いをした。

- ・改正祈祷書の学びのときを計画。

- ・3月の月次決算報告について確認。

- ・大阪教区宣教協議会のために献げられた献金を特別財産の特別宣教資金の中で管

- ・5月からのみ言葉の礼拝を盛り込んだ取り組みを丁寧

に説明していくことを確認。

- ・教役者の休暇について総務局を中心に検討する。

- ・教役者給与を教区から一括して支給することによって、それに伴う課題に対処するため、弁護士・社労士との契約の必要性を確認。総務局でまとめていく。

- ・南海トラフに備えて、教区事務所運営を検討しておく。

- ・聖公会生野センターのお掃除プロジェクトへの協力をお願いする。

- ・教区報の部数を現在2500部から2200部に減らすことを承認。

- ・中日本協働委員会の報告を共有。

- ・大阪聖パウロ教会納骨堂の廃止手続きが完了。

- ・大阪教区宣教協議会2027に向けて準備を進めている。

- ・2026年教区礼拝に向けての話し合いをした。

- ・改正祈祷書の学びのときを計画。

- ・3月の月次決算報告について確認。

- ・大阪教区宣教協議会のために献げられた献金を特別財産の特別宣教資金の中で管

- ・5月からのみ言葉の礼拝を盛り込んだ取り組みを丁寧

理していくことを承認。

- ・2026年牧会補助金が財務委員会で審議された決定額を確認。

- ・2026年教会分担金補正額を確認。

6/2
第4回

- ・教区の今後の道筋を模索するために、大阪教区宣教協議会開催に向けての準備の時を大事にしたい。

- ・教役者給与を教区から一括して支給することについて教役者会でも意見交換した。

- ・中日本協働委員会の報告を共有。

- ・教区所有の富田林住宅が明け渡された。今後、活用か売却かの検討をする。

- ・教区の顧問弁護士、社労士として総務局より推薦のあった件を承認した。

- ・2021年度版教区諸規則集の改定を総務局が主体で進めていく。

- ・教区礼拝準備の進捗状況が報告された。

- ・大阪教区宣教協議会の実行委員を、大西暖子さん(三一)、吉川礼子さん(ペテロ)、小松虎ノ介さん(川口)

日本聖公会 大阪教区婦人会

秋の修養会

主の名を賛美します。
今年の修養会では、難民支援の最前線におられるシナピスの働きについて学びさせていただきます。これは2023年、日本聖公会宣教協議会と呼びかけられた「いのちにはえ、となりびととなるために」の3つのテーマのひとつ「世界の声に耳を傾けよう」に呼応するものです。私たちのすぐ横で起きている、世界の叫びに向き合うきっかけになればと思います。どうぞ皆様、奮ってご参加ください。

大阪教区婦人会 会長ルデヤ辻節子・役員一同

講演会

「日本における 難民移住者の現状と課題 ～シナピスの現場から～」

講師 カトリック大阪高松大司教区
社会活動センター・シナピス
副センター長 ビスカルド篤子氏

カトリックのシナピスで長年、難民・移住者支援に携わってこられたビスカルド篤子氏をお迎えします。

どなたでも
ご参加
いただけます

日時 10月17日(土) 13:00～15:00

場所 芦屋聖マルコ教会
芦屋市公光町2-10 (0797-22-5504)

公共交通機関でお越しください 上履と靴袋
をご持参ください。

阪神芦屋駅より徒歩5分
JR芦屋駅より徒歩10分
阪急芦屋川駅より徒歩15分
阪神バス神戸線芦屋川停留所
(アーバンライフ マンション前)より徒歩3分

大阪教区関係教役者レクイエム

毎月第2水曜日 川口基督教会

9月9日(水) 10:30~

説教者：内田 望 司祭

- 4日 執 事 ラザロ 布施 好古 (1938)
- 6日 主 教 ヨハネ 名出 保太郎 (1945)
- 9日 司 祭 ジェームズ・J・チャプマン (1946、英)
- 11日 司 祭 チャールズ・ハムデン・バジル・ウッド (1941、英)
- 12日 主 教 ヘンリー・エヴィントン (1912、英)
- 14日 宣教師 ドロシー・サローム・ワインウイilson (1963、英)
- 23日 主 教 ペテロ 柳原 貞次郎 (1973)
- 司 祭 ドナルド・F・ウインズロー (2000、米)
- 25日 司 祭 田中 正之助 (1927)
- 27日 宣教師 エルシー・メイ・ベイカー (1977、英)

10月14日(水) 10:30~

説教者：松平 功 司祭

- 2日 司 祭 ジョージ・チャプマン (1940、英)
- 5日 司 祭 サムエル 福田 光宏 (2013)
- 9日 主 教 ヨハネ 山田 襄 (1993)
- 12日 司 祭 マルコ 岡 精三 (1997)
- 16日 主 教 ペテロ 松井 米太郎 (1946)
- 主 教 サムエル・ヘーズレット (1947、英)
- 18日 司 祭 ステパノ 木庭 孫彦 (1928)
- 20日 司 祭 チャールズ・セオドア・ワレン (1949、英)
- 23日 司 祭 ステパノ 遠藤 敏雄 (1971)
- 24日 司 祭 深田 直太郎 (1971)
- 司 祭 ペテロ 横田 久明 (1995)
- 25日 宣教師 イブリン・アリス・レーン (1971、英)
- 29日 司 祭 セオドシアス・ステファンズ・テイング (1927、米)

- 川口基督教会
ヨハンナ 鈴木 久美子
(6月18日・87歳)
- 大阪聖アンデレ教会
アンデレ 粥川 昌
(6月20日・92歳)
- 西宮聖ペテロ教会
マリヤ 奥田 和
(7月27日・99歳)
- 聖ルシア教会
ダビデ 滝澤 武人
(6月18日・83歳)

逝 去 者

- スザンナ ス・ミヤ・トウエ
ルシア 狩俣 多介子
- クララ 伊波 みゆき
ラザロ 金 材瑛
- アウグステイヌス 朴 洗弘
ベルナルド 伊波 義治
- 川口基督教会 (7月5日)
ビール・レイチエル・アン
マクシミリアン 飯澤 雅彦
フローラ 飯澤 潤子

堅 信

- 川口基督教会 (7月5日)
アンナ 山根 尚子
ペテロ ペラルタ・プロー
マクシミリアン 飯澤 雅彦
フローラ 飯澤 潤子

洗 礼・初 陪 餐

06-6621-2
179

6/26
第5回

- ・海外伝道のための指定献金をエルサレム教区にささげることを承認した。
- ・モンゴルの森への献金依頼があることを共有した。
- ・教区礼拝としての英語礼拝のあり方について意見交換した。
- ・4月の月次決算報告について確認。
- ・牧会補助金支給と教会分担金補正額の決定が財政局から報告された。

- ・高齢信徒が集える場をつくることを検討する。
- ・外キ協、外キ連などのプロジェクトに積極的に参加する。
- ・大宗連の議長になった。担当司祭は金山司祭。大阪教区事務所は事務局としての働きが増える。
- ・改正祈禱書の試用版が配布されるので、用い方を検討する。
- ・第139回教区会の書記に、内田司祭、千松司祭、金司

- ・祭、補助書記に薦田聖職候補生が指名されたとの報告があった。
- ・横浜教区センター建設募金に特別宣教資金より援助する。
- ・フィリピン災害支援に、災害緊急支援より援助する。
- ・みことばの礼拝の勉強会に80人ほどの参加者があった。
- ・社労士との顧問契約が常置委員会承認された。
- ・教区専用サーバーの契約を承認した。
- ・災害時の連絡体制や対応を常に総務局で準備しておく。

- ・教区礼拝、宣教協議会の準備の進捗状況を共有した。
- ・5月度月次決算報告があった。
- ・2026年11月7日(土) 14:00
- ・大阪教区合同埋葬式
- ・場所：大阪教区墓地(大阪霊園内)
- ・埋葬申請期限：2026年9月30日
- ・問合せ：教区事務所(担当：上谷衣代)